

## 女子学生の身体寸法と既製服寸法の認識度について

原田 妙子・吉田真理子

### A Study on Young Women's Consciousness of Body Size and Size of Ready-made Clothes

Taeko HARADA and Mariko YOSHIDA

#### 緒 言

流行はマスメディアを通じて、著しく変動し、一昔前のどこを見ても同じ服装をしている時代から、個性化の時代へと変化し、おしゃれに対する意識は、かなり高くなっている。市場には物があふれ、自分の欲しい物は、探せば必ず手に入る時代にもなっている。特に若い女性は、流行に敏感と思われ、自分に似合うと思われる様々な衣服を着用している。

しかし、衣服の購入時に当然知っているべきである自分の身体寸法についての女子学生の身体認識度は、以前にも研究されているように、身長、体重については、高い認識度が認められる反面、周径項目特にヒップについては低いとされている。<sup>1)2)</sup>そこで、女子学生の衣服サイズの選択時に、関係すると考えられる身体寸法の認識度を知り、身体計測値とどの程度のずれが生じているかを把握するために本研究を行った。

また、衣生活の面では、日本人の体格が向上し、およそ10年毎に日本人の体格調査が行われ、それに伴ない既製服のサイズも変化し、最近では1997年により適合度の高い既製服を目指してJISの衣料サイズが改正された。この現状の中で、流行に敏感だと思われる女子学生は、自分に合ったデザインだけでなく、自分に合ったサイズの衣服を、果たして選んでいるのかについては、疑問とするところである。そこで、さらに衣服サイズの認識度を把握する必要性を感じ、それを検討すると共に、今後の被服教育への指導の手がかりとしたいと考える。

#### 方 法

1. 被験者は、1999年入学の84名と2000年入学の83名の合計167名である。
2. 調査は、それぞれの女子学生が1年次の1999年9月と2000年9月に実施した。
3. 調査は、各自の身体計測の前に、各自が認識しているバスト、ウエスト、ヒップのサイズを記入させた。体格調査でよく用いられる身長と体重は、香川等の調査により、認識度が比較的高いという結果<sup>1)2)</sup>であったため、今回は省くこととした。さらに、各自の着用している衣服サイズを、上衣、下衣、ジーンズの別で記入させた。
4. 分析は、各自の身体計測値と認識値を単純集計し、さらにそのずれを求め、衣服サイズとのクロス集計を行った。

## 結果および考察

### 1. 身体計測値と認識値

#### 1) 被験者の身体計測値

被験者の身体計測値の平均値は、身長157.6cm、体重50.5kg、胸囲(乳頭位胸囲)83.2cm、胸囲63.2cm、腰囲89.8cmである。全国平均と比較するために、1997年に日本工業規格(JIS)による成人女子衣料サイズの改定の基礎となった日本人の人体計測データ<sup>3)</sup>を基準とし、モリソンの関係偏差折線を図1に示した。身長はほとんど一致しており、胸囲はやや大きいものの、胸囲、腰囲はやや小さく、体重も軽い。しかし、全てが0.25 $\sigma$ 以内を示しており、全国平均とほとんど差がないと見ることができる。

#### 2) 胸囲について

各自の胸囲の身体計測値と各自が認識しているバストサイズをヒストグラムに示したものが図2である。級間は、衣服サイズとの比較を考慮して、JISに従い3cmピッチとした。

自分の認識しているバスト寸法を答えた人は、114名68.2%であり、約1/3が自分のサイズを知らないという結果であった。認識値の平均値は83.5cm、身体計測値は83.2cmであり、大きな差は見られないが、最も出現数が多い値は認識値では83cm、計測値は80cmと、計測値の方が1サイズ小さくなっている反面、出現範囲では、認識値が74~104cmであるのに対して、計測値では71~110cmと広がっている。これは、被験者が服飾を専攻している学生であったためか、標準体型が83cmであるという概念を持っており、そこを中心に集まったのではないか

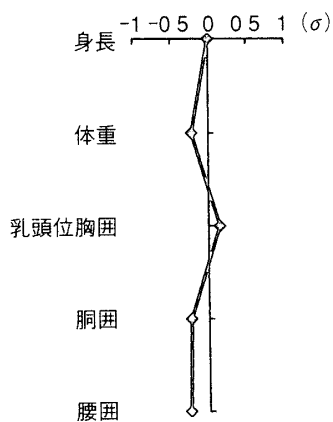


図1 平均値の比較

基準値『日本人の人体計測データ'92-'94』  
人間生活工学研究センター

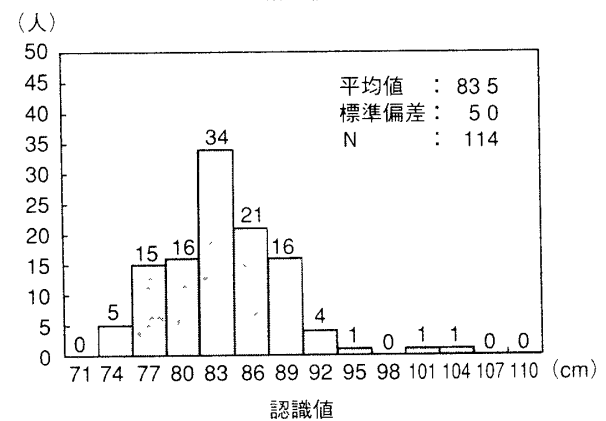
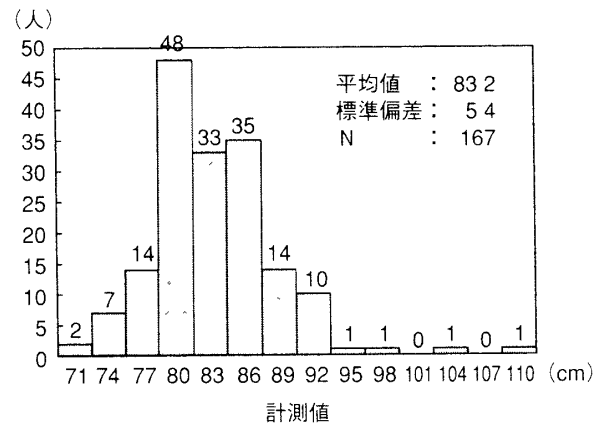


図2 身体計測値(胸囲)と認識値(バスト)の分布

と考える。

3) 胸囲について

胸囲と同様に、各自の胸囲の身体計測値と認識しているウエストサイズをヒストグラムに示したものが図3である。級間も胸囲と同様3cmピッチとした。

自分のウエスト寸法を答えたのは、122名73.1%であり、バスト寸法を答えた人より多い。平均値は、認識値が63.5cm、計測値が63.2cmでありほぼ変わらず、最頻値はどちらも64cmであり、出現範囲も測定値が51.8~93.6cmであるのに対して認識値は55~95cmとほぼ一致している。しかし、最大値の94cm、85cmを除けば、認識値は計測値より中心に集まっていると言える。バストに比べ、計測値と認識値の分布の様相は近似しており、ウエストにゴムのスカート等が多く着用されているも、自分のウエストをある程度の人把握していると思われ、さらに太さを意識する時、ウエストが大きな位置を占めているとも推察できる。

4) 腰囲について

腰囲についても同様に、図4にヒストグラムを示した。級間は、JISサイズに準じて2cmである。

平均値は、計測値が89.8cmであるのに対して、認識値は90.8cmと1cmのずれが見られ、出現範囲も測定値が78.2~108.5cmであり、認識値は81~115cmと太くなっている。しかし、最頻値を見ると、計測値が91cmであるのに対して、認識値も91cmであり人数は近似しているが、

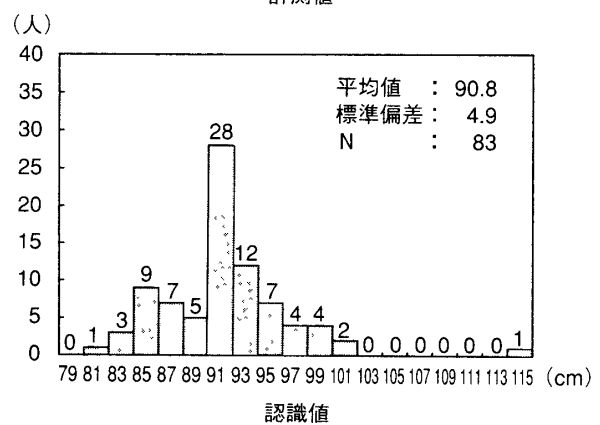
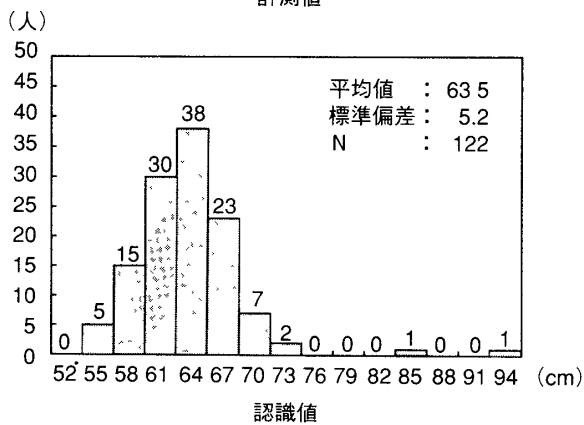
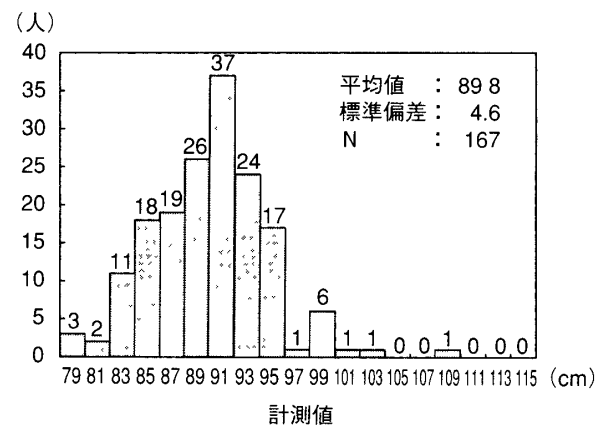
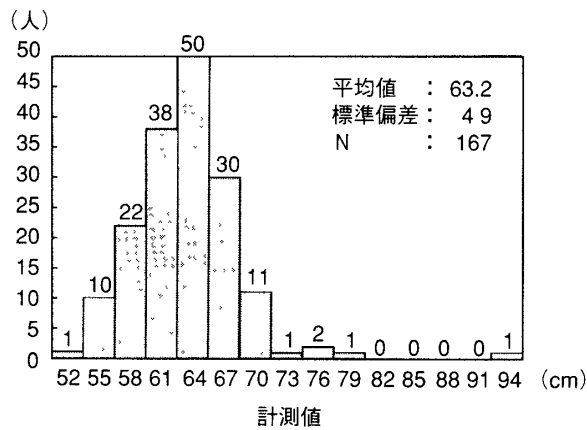


図3 身体計測値(胸囲)と認識値(ウエスト)の分布

図4 身体計測値(腰囲)と認識値(ヒップ)の分布

その他の出現はかなり少ない。認識度も3サイズの中では最も低く49.7%と半数に満たず、値もかなりずれて認識されていると言える。これは香川等<sup>1)2)</sup>の結果に比べて、ややよい値を得てはいるが、その内容は正確とはいえない。

#### 5) 身体計測値と認識値のずれ

バスト、ウエスト、ヒップの3サイズにおいて、自分の身体計測値と認識値間の差を見るために、認識値から身体計測値を差し引いた値を求め、身体計測値ごとにクロス集計したものを

表1 身体計測値と認識値との差

計測値 差 <sup>△</sup>	胸 囲														合計
	71	74	77	80	83	86	89	92	95	98	101	104	107	110	
-10								1							1
-8															0
-6				1		1		2							4
-4				2		4	1	2	1					1	11
-2				7	5	7	4					1			24
0		3	3	5	10	4	2	1							28
2			6	11	2	6	2								27
4		2		8	2		1								13
6	1			1	2	1	1								6
未記入	1	2	5	13	12	12	3	4	0	1					53

計測値 差 <sup>△</sup>	胸 囲														合計	
	52	55	58	61	64	67	70	73	76	79	82	85	88	91		94
-6							1									1
-4				1	5	2	2	1								11
-2			1	2	4	3			1							11
0		1	7	8	15	9	4									44
2		5	7	11	6	3	2							1		35
4		3	4	6	2	1										16
6	1			1						1						3
8				1												1
未記入		1	3	8	18	12	2		1							45

計測値 差 <sup>△</sup>	腰 囲														合計		
	79	81	83	85	87	89	91	93	95	97	99	101	103	105		107	109
-8										1							1
-6																1	1
-4				2					5								7
-2					2	2	3	4			2						13
0			1	4	3	5	7	4	3								27
2			3		1	2	7	2	1		2						18
4				1	3	2	2	1	1								10
6	1				1	1										1	4
8																	0
10						1											1
未記入	2	2	6	11	9	13	18	13	7		2		1				84

※：-は身体計測値より小さく認識，+は大きく認識していることを示す。

表1に示す。

バストについてみると、身体計測値と認識値が一致している人は28名であり、自分の身体サイズを回答できた人の中でも24.6%しか見られない。差の出現範囲は-10~6cmとかなり広く、差が大きいのは、計測値80cmの人たちで、自分の計測値より大きく認識している人が20名もいる。このため、認識値では83cmと答えた人が最も多くなったものと思われる。計測値83cmをはさんで、胸囲が小さい人は大き目に、大きい人は小さ目に認識していると言える。

ウエストでは、差の出現範囲は-6~8cmで、3サイズの中では狭く、一致している人は44名、36.1%である。認識値と差のない人は計測値64cmに最も多く、バストと同様に、1サイズ下の61cmの人で2cmの差がある人がかなり多く、認識値で64cmが多く見られたことを裏付けている。バストと同様、胸囲が小さい人は大き目に、大きい人は小さ目に認識している。

ヒップについても、同様の傾向が見られるものの、計測値と認識値が一致している人数は27

表2 JISの体型区分表示

体型区分

体 型	意 味
A 体 型	日本人の成人女子の身長を142cm, 150cm, 158cm及び166cmに区分し、さらにバストを74~92cmを3cm間隔で、92~104cmを4cm間隔で、区分したとき、それぞれの身長とバストの組合せにおいて出現率が最も高くなるヒップのサイズで示される人の体型。
Y 体 型	A体型よりヒップが4cm小さい人の体型。
A B 体 型	A体型よりヒップが4cm大きい人の体型。ただし、バストは124cmまでとする。
B 体 型	A体型よりヒップが8cm大きい人の体型。

サイズの種類と呼び方

体型区分のサイズの呼び方は、上記のとおりとする。

参考 呼び方は、バスト、体型及び身長の記号で表している。

なお、身長の記号は次のとおりである。

- (1) R 身長158cmの記号で、普通を意味するレギュラー(Regular)の略である。
- (2) P 身長150cmの記号で、小を意味するPはプチット(Petite)の略である。
- (3) PP 身長142cmの記号で、Pより小さいことを意味させるためPを重ねて用いた。
- (4) T 身長166cmの記号で、高いを意味するツール(Tall)の略である。

A体型：身長158cm

呼 び 方		3 AR	5 AR	7 AR	9 AR	11AR	13AR	15AR	17AR	19AR		
基本身体寸法	バスト	74	77	80	83	86	89	92	96	100		
	ヒップ	85	87	89	91	93	95	97	99	101		
	身長	158										
参考*	ウエスト	年代区分	10	58	61	61	64	67	70	73	76	80
			20	61	64	67	70	73	76	80	84	
			30									
			40	64	67	70	73	76	80	84		
			50	64	67							
			60	—	—	70	73	76	80	84	88	
			70	—	—	—	—	76	—	—	—	

注\* 各サイズに対応するウエストの年代区分別平均値をもとに定めたものを参考として示す。年代区分は、“10”は16~19歳，“20”は20~29歳，“30”は30~39歳，“40”は40~49歳，“50”は50~59歳，“60”は60~69歳及び“70”は70~79歳である。

名, 32.5%で, バストやウエストより認識度は低いものの認識している人の中での割合はバストより高い. 差の出現範囲は-8~10cmで全体にばらついており, 誤差の大きい人も見られる.

## 2. 身体計測値と衣服サイズ認識値

既製服に関するサイズ設定は, 日本工業規格によってなされており, 女性用は『JIS L4005-1997成人女子用衣料のサイズ』で示されている<sup>9)</sup>. フィット性を必要とする衣料については, A・Y・AB・B体型と体型区分がなされ, 身長, バスト, ヒップ, ウエストにより表2のように, サイズが規定されている.

そこで, 女子学生が既製服を購入する時, 自分の認識している身体寸法にしたがって, 衣服のサイズを選んでいると思われることから, 女子学生はどの程度自分の身体計測値に合った既製服を購入しているかについて把握するために, 自分の上衣, 下衣, ジーンズについて衣料サイズを回答させた.

### 1) 上衣について

上衣として回答されたサイズの結果を図5に示した. 上衣では, 自分の衣服サイズを答えたのは, 83名で49.7%と半数に満たない. さらに回答した中でも, JISの規定にない8号, 10号といった号数を上げた人も2名みられた. 自分のサイズを答えた81名の内で, 半数以上の48名が9号と答え, 最も多い回答である. しかし, 身体測定値をみると, 9号サイズに相当するバスト83cmは33名しかおらず, 明らかに身体測定値と異なる既製服サイズを誤って認識した人がいることが分かる. また自分の身体計測値とは一致していないが, 認識値を見ると83cmと答えた人が多く, 分布の様相は似ている. これは, 標準サイズが9号であるということが既成概念として認識されていることと, 一般の店舗に若い女性の既製服が, 7・9号しかおいていない所が多いためその2サイズからの選択・購入になることが推察される.

### 2) 下衣について

下衣として上げられたサイズの回答結果を図6に示した. 下衣においては, 正確には号数だけで表されるものではなく, 体型区分がA, Y, AB, Bと4つに分類され, それぞれのバストとヒップの組み合わせ

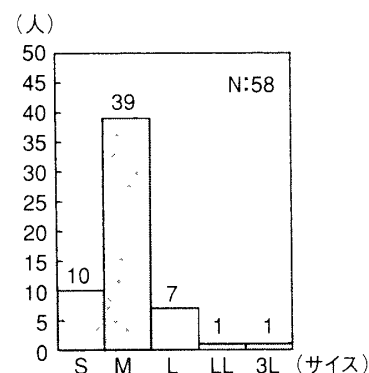
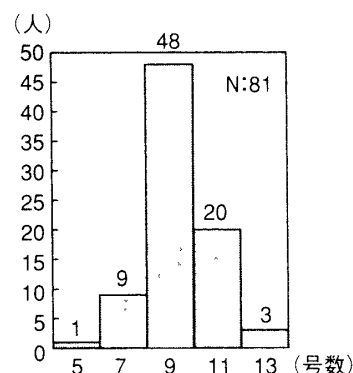


図5 既製服の認識サイズ(上衣)

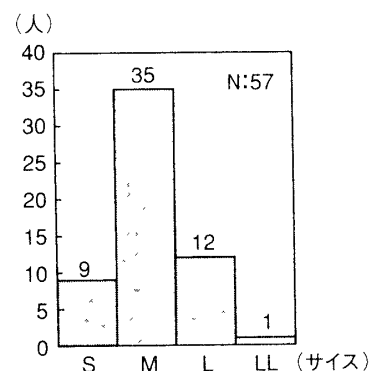
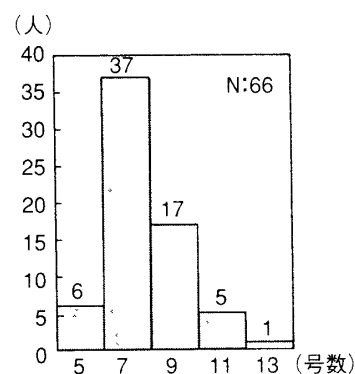


図6 既製服の認識サイズ(下衣)

せではじめてヒップの寸法が決まる。しかし市販されている既製服をみると、上下の組み合わせの物は号数だけで示されているものも多く、これらの物は、標準のA体型を指すと考えられる。

被験者においても、下衣の号数の質問に対する回答は、バスト寸法を示す号数のみを記入している。自分の既製服のサイズでは、9号サイズを上げた人が37名で最も多い。これは、9A

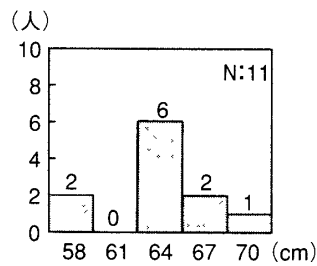
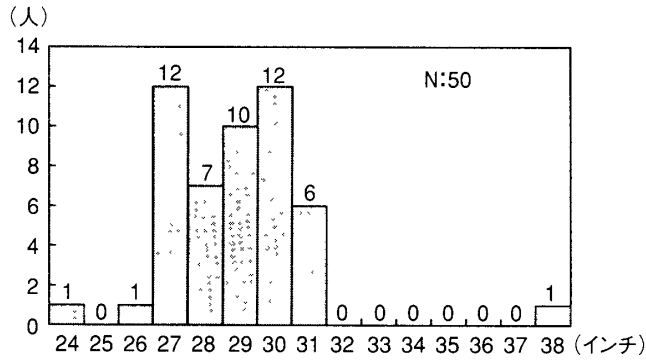


図7 既製服の認識サイズ(ジーンズ)

サイズのヒップが91cmであることから、身体計測値では91cmが最も多く、認識値も同様であったことと一致している。しかし、身体計測値では89cm以下が多いのに対して、認識値では少なく、下衣の既製服サイズで7号サイズを選んだ人も少ないことと近似している。フィット性を必要としない衣服サイズの表示方法であるS・M・L・LLについても、同様に認識値と似た様相を示す。

3) ジーンズについて

ジーンズについては、図7に示すようにインチ表示の物とウエスト寸法表示の物が市販されているため、両者について回答を得たところ、インチを答えた人が多く、29.9%の回答を得た。ウエストサイズで答えた人は、わずか6.5%にすぎない。ジーンズでは、男女兼用の物が多

表3 身体計測値別の既製服のサイズ認識

号数	計測値	胸 囲													合計
		71	74	77	80	83	86	89	92	95	98	101	104	107	
上 衣	13						1			1				1	3
	11				1	2	10	2	5						20
	9	1	1	5	13	12	13	2			1				48
	7		2	3	3	1									9
	5		1												1
	未記入	1	3	6	31	18	11	10	5			1		86	

号数	計測値	腰 囲														合計	
		79	81	83	85	87	89	91	93	95	97	99	101	103	105		107
下 衣	15															1	1
	13							1	2			1	1				5
	11				1		3	3	3	5		2					17
	9		1	1	4	7	10	10	3	1							37
	7			1	2	2	1										6
	未記入	2	2	8	11	12	11	25	14	11		3	1	1		101	

下線は身体計測値と既製服サイズの一致を示す。

く、ウエストサイズをインチで表しているため、各自の身体計測値および認識値では64cmが多いが、27インチから31インチの中に集まっており、やや大きいサイズを選んでいる。ウエスト寸法サイズでは、選んだ人が少ないため、詳細は述べられないが、傾向としては64cmが多く一致している。

#### 4) 身体計測値別の既製服サイズ

既製服のサイズは、各自の身体計測値より、認識値によるところが大きいことが先の結果より推測でき、身体計測値とのずれがかなりあるものと予想できる。そこで、身体計測値別に選んだ既製服のサイズにどの程度の差があるかを見るために、クロス集計を行い、その結果を表3に示した。

上衣についてみると、自分の胸囲に一致しているサイズを選んだ人は25名、自分より大きいサイズを選んだ人は30名、小さいサイズを選んだ人は26名とほぼ1/3ずつに分散しており、個人によって大き目のサイズを好む人や小さ目を好む人がいると考えられるが、企業が意図した衣服のサイズを正確に選んでいないと言える。号数別に見ると、11号サイズを選んだ人は、86cmの正しい胸囲寸法の人が多いことに対して、一般的な9号、7号を選んだ人は、衣服のサイズより身体計測値の方が小さい人が多く見られる。

下衣について見ると、上衣以上に自分の腰囲寸法と一致した物を選んでいる人が少なく、14名しかいない。ヒップについては、自分の身体寸法の認識度も低かったように、衣服サイズの認識度も低いことがうかがえる。しかし、先に述べたように、下衣はバストとヒップとの組み合わせで体型区分が設定されているにもかかわらず、号数のみの回答であり、A体型以外の人気がつかないうちに自分に合ったAB体型あるいはB体型の下衣を選んでいるのではないかと考えられるが、身体計測値で全国の平均値より本被験者の方が腰囲がやや小さかったことも考え合わせると、大きいサイズを選んでいる人が多いと思われ、上衣よりも認識度が低いといえる。

以上のことから、既製服サイズの選び方は、認識値によるところが大きく、本当の身体計測値とは、かなりずれている人が多く、既製服サイズの教育の必要性を感じるが、それ以前の各自の身体計測値を正確に把握させることが重要であると考えられる。

## 要 約

女子学生の衣服サイズ選択時に関係する身体寸法の認識度を知り、身体計測値とのずれを把握した上で、さらに衣服サイズの認識度を検討した。その結果、バスト寸法の認識度は68.2%であり、計測値の分布より標準といわれている83cmに集中している。ウエストは73.1%の認識度で、バストに比べ、計測値と認識値の分布の様相は近似している。ヒップは3サイズの中では最も認識度が低く49.7%と半数にも満たず、値もかなりずれて認識されているといえる。身体計測値と認識値の差はかなり見られ、胸囲、胴囲共に小さい人は大き目に、大きい人は小さ目に認識していると言えるが、腰囲はばらつきや誤差も大きい。既製服サイズの選び方は、認識値によるところが大きく、本当の身体計測値とは、かなりずれている人が多く、標準とされている9号・Mサイズに集中している傾向にある。今後、既製服サイズの教育の必要性を感じると共に、それ以前の各自の身体計測値を正確に把握させることが重要であると考えられる。

## 文 献

- 1) 香川由美, 津島由里子: 女子学生の身体認識と満足度について, 広島女子短期大学紀要, 32, 13



～19(1995)

- 2) 香川由美, 津島由里子: 女子学生の身体認識とボディイメージについて, 広島女子短期大学紀要, 33, 21～31(1996)
- 3) (社)人間生活工学研究センター: 日本人の人体計測データ1992-1994, (社)人間生活工学研究センター(1997)
- 4) 日本工業標準調査会: 成人女子用衣料のサイズJIS L4005-1997, 2～8, 日本工業規格(1997)